

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成24年度採択）

事後評価結果（公表用）

番号	研究名	研究代表者	評価
24-5	歩行者の表情・しぐさを利用した空間評価指標についての研究開発	埼玉大学 教授 久保田 尚	B
<p>＜研究の概要＞ ※成果報告レポートより引用</p> <p>歩行者の心理を正確に反映した街路歩行空間の評価手法を確立するため、外部から観察可能な歩行者の笑顔の評価基準とする指標を用いて映像解析から自動的に指標値を算出するシステムを提案した。</p> <p>＜事後評価結果＞</p> <p>実用性には課題が残されているものの、調査対象サンプルに偏りがなく、外部から観察可能な歩行者の笑顔の評価基準とするという着想はユニークである。限定的ではあるが、研究目的は概ね達成されており、研究成果があったと評価する。</p> <p>＜参考意見＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の表情を定量評価するという意欲的な試みであるが、「笑顔度」の詳細な定義が不明であり、評価値の曖昧さといった当初からの懸念事項が十分にクリアされたとは言いがたい面もあるため、他の調査・解析手法との比較を含めさらなる検討の余地がある。 2. 本研究の成果を実務で使用するためには、相当数の事例の蓄積とそれらに対する詳細な分析が前提となる。 			

※本事後評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第27回新道路技術会議において審議したものである。